山本豊津氏
ヒアリング資料

資料３－５

令和２年１１月１０日

山本豊津

レジメ

○ 現代アートの現状

1986	前衛芸術の日本1910-1970	ポンピドゥセンター
1995	1970ー物質と知覚	岐阜県、広島県、北九州市、埼玉県
2001	CENTURY CITY Tokyo 1967-1973	テートモダン
2005	もの派ー再考	国立国際美術館
2012	TOKYO 1955-1970 A NEW AVANT-GARDE	MoMA
2013	GUTAI	グッゲンハイム

1960年代：1970年代の現代美術
価値の評価　欧米の美術館の認識
価格の評価　欧米のコレクターが蒐集
　　オークションに出品
　　アートフェア　2015年バーゼルアートフェア 香港、マイアミ、バーゼル
価値と価格がグローバルマーケットで認められる

○ 課題

現代美術のマーケットが育たない
　消費財から資産財へ
　　価値の評価　日本の近現代美術のコンテクスト　批評と歴史性
　　価格の評価　公的鑑定期間の設立
　　アートを資産財へ→ 国内のコレクター拡大
1980年代以降の現代美術の評価の確立
失敗例として関根伸夫の位相大地が海外のコレクターへ

○ 国家の役割

文化政策　2018 年文化芸術基本法の実施
税制　相続税の猶予　現代美術を特定美術品へ
　　寄託から寄贈へ　美術館のコレクションの充実